平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名　宮地エンジニアリンググループ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3431　URL　http://www.miyaji-eng.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩倉　健雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 越後屋　秀博　TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,512	4.1	232	△58.2	223	△61.2	123	△77.8
24年3月期第2四半期	9,138	△33.0	556	△61.7	576	△60.3	556	△58.8

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　70百万円　(△81.9%)　24年3月期第2四半期　387百万円　(△63.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.81	―
24年3月期第2四半期	8.17	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	28,488	11,471	40.3
24年3月期	28,084	11,401	40.6

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　11,471百万円　24年3月期　11,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	28.4	500	27.1	400	1.0	300	△0.9	4.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	69,194,543 株	24年3月期	69,194,543 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,103,201 株	24年3月期	1,102,586 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	68,091,770 株	24年3月期2Q	68,094,713 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

将来に関する記述等についてのご注意
1. 平成25年3月期(予想)配当金は、第2四半期末(中間)配当を見送らせていただきました。期末配当につきましては、現時点において未定です。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 9
生産、受注及び販売の状況（連結） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興関連需要などを背景に国内需要は底堅く推移しているものの、欧州の政府債務危機を背景とした海外経済の減速や新興国の経済成長の鈍化、長期化する円高や株価の低迷などの影響により、依然として国内景気は先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である橋梁につきましては、当第２四半期連結累計期間の総発注量は前年同期を若干上回ったものと思われますが、国土交通省や地方自治体の発注量は前年同期に比べ減少いたしました。また、民間工事量も減少傾向にあり、熾烈な受注競争が継続し、厳しい事業環境となっております。

このような環境下、当社グループは、事業会社の宮地エンジニアリング株式会社が有する製作・架設力などの総合エンジニアリング力を最大限活かし、道路橋などの公共事業、鉄道橋・鉄構などの民間事業、合成床版などのＦＲＰ事業、保全・補修事業および海外事業に注力し、受注、売上、利益の安定確保の施策を継続的に推進しております。

当第２四半期連結累計期間の受注高につきましては、積極的な営業活動を継続して展開した結果、99億72百万円（前年同期比30.9%増）となりました。

売上高につきましては、前年同期に比べ増加したものの一部工事の進捗遅れもあり、95億12百万円（同4.1%増）となりました。

損益につきましては、コスト削減に引き続き努め、生産効率化などの施策効果が見られたものの、前年同期に比べ採算の厳しい工事が進捗し、利益率が低下したことから、営業利益は２億32百万円（同58.2%減）、経常利益は２億23百万円（同61.2%減）、四半期純利益は投資有価証券評価損の特別損失計上もあり、１億23百万円（同77.8%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前連結会計年度末と比較して４億３百万円増加し、284億88百万円となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金が15億43百万円増加しましたが、流動資産のその他に含まれる未収入金が９億71百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して３億33百万円増加し、170億17百万円となりました。主な要因は、短期借入金が７億５百万円増加しましたが、未成工事受入金が４億84百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して70百万円増加し、114億71百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が53百万円減少しましたが、利益剰余金が１億23百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して45百万円減少し、48億84百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、６億65百万円の資金減少（前年同期は４億95百万円の増加）となりました。主な要因は、売上債権の増加15億42百万円およびその他に含まれる未収入金の減少９億71百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、57百万円の資金減少（前年同期は４百万円の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出43百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、６億78百万円の資金増加（前年同期は30億34百万円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金の増加７億５百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く環境は、国土交通省や地方自治体の発注が今後回復してくるものと思われますが、受注競争は依然として厳しく、引き続き予断を許さない状況で推移するものと予想されます。

当第２四半期連結累計期間における業績は、前年同期に比べ売上高は増加したものの、採算の厳しい工事の進捗により利益は減少いたしました。第３四半期以降もグループが保有する実績・技術力・架設力を活かして、受注に向けた営業体制を強化し、技術提案力、積算精度の向上を図り、情報収集力を高め、総力を挙げて安定的な受注の確保に努めるとともに、製作から架設までの総合的な技術力の強化と採算性の更なる向上を図ってまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成24年５月17日公表数値に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,991,009	4,948,447
受取手形・完成工事未収入金	7,437,754	8,981,061
未成工事支出金	95,657	125,981
その他	1,388,116	542,797
流動資産合計	13,912,537	14,598,287
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,374,729	8,374,729
その他（純額）	2,783,152	2,671,559
有形固定資産合計	11,157,882	11,046,289
無形固定資産	187,973	172,802
投資その他の資産		
投資有価証券	2,580,565	2,429,851
その他	325,861	328,228
貸倒引当金	△79,940	△86,625
投資その他の資産合計	2,826,486	2,671,455
固定資産合計	14,172,342	13,890,547
資産合計	28,084,879	28,488,834
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	3,684,854	3,998,570
短期借入金	6,520,320	7,225,480
未払法人税等	50,073	45,949
未成工事受入金	950,694	466,169
工事損失引当金	689,448	743,350
その他の引当金	257,409	237,975
その他	438,199	263,261
流動負債合計	12,590,999	12,980,756
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,213,913	2,213,913
退職給付引当金	1,445,929	1,440,495
その他の引当金	47,445	53,180
その他	385,163	328,944
固定負債合計	4,092,452	4,036,534
負債合計	16,683,452	17,017,291

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,234	3,746,225
利益剰余金	1,306,888	1,430,205
自己株式	△223,189	△223,265
株主資本合計	7,829,933	7,953,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,474	88,357
土地再評価差額金	3,430,019	3,430,019
その他の包括利益累計額合計	3,571,494	3,518,376
純資産合計	11,401,427	11,471,542
負債純資産合計	28,084,879	28,488,834

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
完成工事高	9,138,295	9,512,763
完成工事原価	7,834,919	8,544,537
完成工事総利益	1,303,375	968,226
販売費及び一般管理費	746,500	735,415
営業利益	556,875	232,810
営業外収益		
受取利息	1,178	954
受取配当金	58,557	29,198
スクラップ売却益	25,332	13,221
貸倒引当金戻入額	32,000	－
その他	17,451	36,516
営業外収益合計	134,519	79,891
営業外費用		
支払利息	59,028	47,724
異常操業損失	43,009	31,956
その他	12,999	9,670
営業外費用合計	115,037	89,351
経常利益	576,357	223,350
特別利益		
固定資産売却益	4,541	20
受取保険金	45,015	－
特別利益合計	49,556	20
特別損失		
投資有価証券評価損	860	68,182
災害による損失	46,988	－
その他	4,340	404
特別損失合計	52,188	68,586
税金等調整前四半期純利益	573,724	154,783
法人税、住民税及び事業税	20,366	31,041
法人税等調整額	△3,279	425
法人税等合計	17,086	31,466
少数株主損益調整前四半期純利益	556,637	123,317
四半期純利益	556,637	123,317

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	556,637	123,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△169,438	△53,117
その他の包括利益合計	△169,438	△53,117
四半期包括利益	387,199	70,199
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	387,199	70,199

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	573,724	154,783
減価償却費	157,810	174,897
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△32,100	6,685
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△87,500	53,902
受取利息及び受取配当金	△59,736	△30,152
支払利息	59,028	47,724
投資有価証券評価損益（△は益）	860	68,182
売上債権の増減額（△は増加）	4,009,527	△1,542,834
未成工事支出金等の増減額（△は増加）	△130,850	△32,454
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,680,014	313,716
未成工事受入金の増減額（△は減少）	△128,299	△484,525
その他	△832,422	652,745
小計	850,026	△617,329
利息及び配当金の受取額	59,736	30,152
利息の支払額	△61,434	△45,376
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	28,106	△33,050
特別退職金の支払額	△381,333	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	495,101	△665,604
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,873	△43,161
その他	34,152	△13,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,279	△57,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△3,020,840	705,160
その他	△14,057	△26,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,034,897	678,519
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,243	△1,453
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,537,760	△45,575
現金及び現金同等物の期首残高	6,199,716	4,930,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,661,955	4,884,688

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況（連結）

① 生産の状況

製品別	前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）		前連結会計年度（自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	8,422,614	93.3	7,594,630	80.3	16,352,461	91.2
建築他	603,682	6.7	1,863,797	19.7	1,576,006	8.8
合計	9,026,297	100.0	9,458,427	100.0	17,928,468	100.0

② 受注の状況

（受注高）

製品別	前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）		前連結会計年度（自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	7,045,333	92.5	8,542,339	85.7	21,069,306	83.4
建築他	574,910	7.5	1,429,758	14.3	4,194,957	16.6
合計	7,620,243	100.0	9,972,097	100.0	25,264,264	100.0

（受注残高）

製品別	前第２四半期連結会計期間末（平成23年９月30日）		当第２四半期連結会計期間末（平成24年９月30日）		前連結会計年度末（平成24年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	13,525,768	94.9	20,664,298	87.6	19,768,081	85.5
建築他	734,186	5.1	2,921,552	12.4	3,358,435	14.5
合計	14,259,955	100.0	23,585,851	100.0	23,126,517	100.0

③ 販売の状況

製品別	前第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）		前連結会計年度（自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
橋梁	8,543,609	93.5	7,646,122	80.4	16,325,270	91.1
建築他	594,686	6.5	1,866,641	19.6	1,590,483	8.9
合計	9,138,295	100.0	9,512,763	100.0	17,915,753	100.0

※ 橋梁とは、新設橋梁の設計・製作・現場施工、既設橋梁の維持・補修・補強、橋梁周辺鋼構造物、複合構造物の設計・製作・現場施工、プレストレストコンクリート橋梁、ＦＲＰ構造物、その他土木事業であります。
建築他とは、大空間・超高層建築物、鉄塔、煙突、工場建物、その他鋼構造物の製作・現場施工、既設構造物の耐震・免震工事、その他の事業であります。